



フェアな価格 確かな信頼

バンカーオイル

Bunker Oil

SAMPLE

☆RIM BUNKER OIL INTELLIGENCE DAILY

★No. 9836 Mar 7 2025

Copyright(C) 2025 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

--TOKYO, 12:30 JST Mar 7 2025<Assessment Closing Time>

お申し込み >

試読 >

◎お知らせ

○エネルギー通信2月号の発行と「立ち寄りセミナー(オンデマンド)」のお知らせ

リム情報開発は20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』23号を発行しました。今号では、政府が2月18日に閣議決定した第7次エネルギー基本計画の内容を整理したうえ、日本が重視していくことが示されたクリーンエネルギーの最新動向をまとめました。エネルギー通信はWEBで閲覧いただくことができます。お申し込みはこちらから：

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/nl/>

また、エネルギー通信の内容を凝縮した「立ち寄りセミナー」を開催します。コロナ禍に始まった立ち寄りセミナーがオンデマンド形式で復活します。今号のポイントを整理しわかりやすく解説いたします。セミナーの詳細や視聴のお申込みはこちらから：

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/seminar20250219/>

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

7日のレックス22は、前日から1.41ポイント下落し161.78です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明をご覧いただけます。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

TEL: 03-3552-2411 / E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信



◎North/South America

--- 6Mar25 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO #	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Vancouver BC*	475.00 - 478.00	+12.00	563.00 - 566.00	-10.00	664.00 - 674.00	+11.00
Seattle/Tacoma*	489.00 - 492.00	+5.00	593.00 - 596.00	-2.00	675.00 - 685.00	+5.00
Los Angeles*	519.00 - 522.00	+4.00	607.00 - 610.00	+4.00	708.00 - 718.00	+12.00
San Francisco*	NA - NA	-	617.00 - 620.00	-2.00	718.00 - 728.00	-3.00
New York*	475.00 - 478.00	-1.00	525.00 - 528.00	-3.00	715.00 - 725.00	-3.00
Philadelphia*	478.00 - 481.00	-2.00	537.00 - 540.00	-4.00	713.00 - 723.00	-4.00
Norfolk*	501.00 - 504.00	-1.00	562.00 - 565.00	-4.00	740.00 - 750.00	-4.00
Houston*	431.00 - 434.00	+1.00	508.00 - 511.00	+1.00	655.00 - 665.00	-7.00
New Orleans*	436.00 - 439.00	+2.00	530.00 - 533.00	-1.00	655.00 - 665.00	-3.00
Panama*	499.00 - 502.00	-2.00	522.00 - 525.00	-2.00	697.00 - 707.00	-5.00

--Note: In US DLRS/MT, *Ex-wharf

◎Europe

--- 6Mar25 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Rotterdam	422.00 - 425.00	+2.00	482.00 - 485.00	+2.00	614.00 - 624.00	+4.00
Antwerp	437.00 - 440.00	+2.00	491.00 - 494.00	+4.00	625.00 - 635.00	+5.00
Hamburg	474.00 - 477.00	-1.00	515.00 - 518.00	+3.00	697.00 - 707.00	-3.00
Gibraltar	485.00 - 488.00	-5.00	513.00 - 516.00	+1.00	709.00 - 719.00	-1.00
Algeciras	485.00 - 488.00	-5.00	513.00 - 516.00	+1.00	709.00 - 719.00	-1.00

--Note: In US DLRS/MT

◎Middle East/Africa

--- 6Mar25 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Las Palmas	495.00 - 498.00	+2.00	525.00 - 528.00	-1.00	709.00 - 719.00	-11.00
Tenerife	495.00 - 498.00	+2.00	525.00 - 528.00	-1.00	709.00 - 719.00	-11.00
Kuwait	450.00 - 453.00	+6.00	497.00 - 500.00	-3.00	715.00 - 725.00	-3.00
Fujairah	450.00 - 453.00	+6.00	497.00 - 500.00	-3.00	715.00 - 725.00	-3.00

--Note: In US DLRS/MT

◎Asia

--- 6Mar25 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO (LSMDO: Japan)	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Tokyo Bay	512.00 - 515.00	+2.00	530.00 - 533.00	-5.00	793.00 - 803.00	+3.00
West Japan	527.00 - 530.00	+2.00	555.00 - 558.00	-5.00	803.00 - 813.00	+3.00
Ise Bay	522.00 - 525.00	+2.00	550.00 - 553.00	-5.00	793.00 - 803.00	+3.00
#Rim Average-Mar	514.83	+1.71	533.40	-4.29	799.81	+2.57
S. Korea	477.00 - 480.00	+10.00	542.00 - 545.00	+2.00	630.00 - 640.00	-5.00
Taiwan Kaohsiung PP***	520.00 - 523.00	-2.00	531.00 - 534.00	0.00	731.00 - 734.00	0.00
Taiwan Keelung PP***	NA - NA	-	531.00 - 534.00	0.00	731.00 - 734.00	0.00
Taiwan Taichung PP***	NA - NA	-	531.00 - 534.00	0.00	731.00 - 734.00	0.00
Taiwan Others PP***	NA - NA	-	531.00 - 534.00	0.00	731.00 - 734.00	0.00
Shanghai	477.00 - 480.00	-5.00	505.00 - 508.00	-5.00	675.00 - 685.00	-3.00

Zhoushan	465.00 - 468.00	+5.00	494.00 - 497.00	-5.00	665.00 - 675.00	-2.00
Hong Kong	475.00 - 478.00	-2.00	510.00 - 513.00	+5.00	642.00 - 652.00	-3.00
Singapore	463.00 - 466.00	+4.00	494.00 - 497.00	-8.00	625.00 - 635.00	-4.00
Bangkok	497.00 - 500.00	+4.00	532.00 - 535.00	-4.00	703.00 - 713.00	-3.00
Colombo	NA - NA	-	556.00 - 559.00	-4.00	735.00 - 745.00	-2.00

--Note: In US DLRS/MT, *Nakhodka, Vostochny, Vladivostok, ***Posted Prices
 #Rim Tokyo Bay monthly average

◎特集記事
○代替燃料
LNG bunker prices — 4Mar25 Closing Quotes —

Port/Location	Change#	Low	High	Change#
Rotterdam	-42	711	731	-42
Singapore	-11	742	762	-11

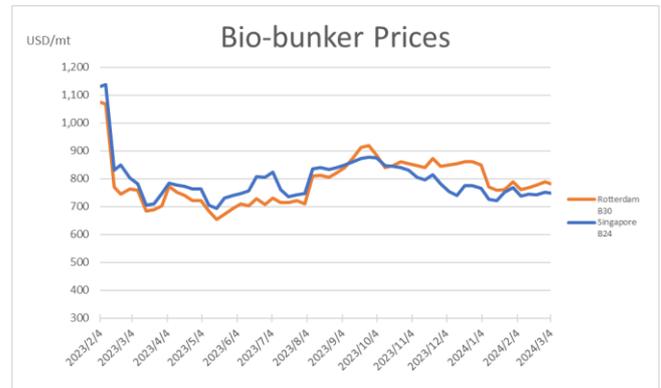
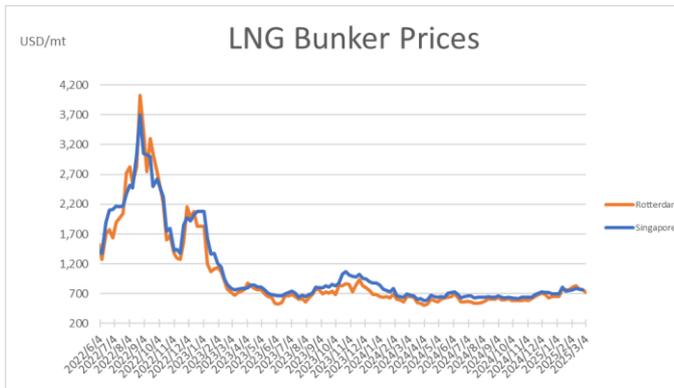
--Note: In US DLRS/MT, #from the previous week

Bio-bunker prices —4Mar25 Closing Quotes —

Port/Location	Change#	Low	High	Change#
Rotterdam B30	-9	719	722	-9
Singapore B24	-30	658	661	-30

--Note: In US DLRS/MT, #from the previous week, UCOME-based

(毎週水曜日に価格を更新いたします)


◎マーケットコメント
○概況

6日のバンカー相場は、取引時間内の原油安を受け、米州で下落する地域が目立った。

6日のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のWTI原油先物相場は、5営業日ぶりに反発した。当限4月物の終値は前日比5セント/バレル高の66.36ドル。1週間前と比べて3.99ドル安い。

短期に売られすぎとの見方が広がり、安値拾いの買いが優勢となった。WTI原油先物は5日の

海外市場で、期近物の終値としては2024年9月10日以来、約半年ぶりの安値を付けていた。3月入り後、為替がドル安/ユーロ高の基調で推移しており、ドル建て商品の割安感も意識された。

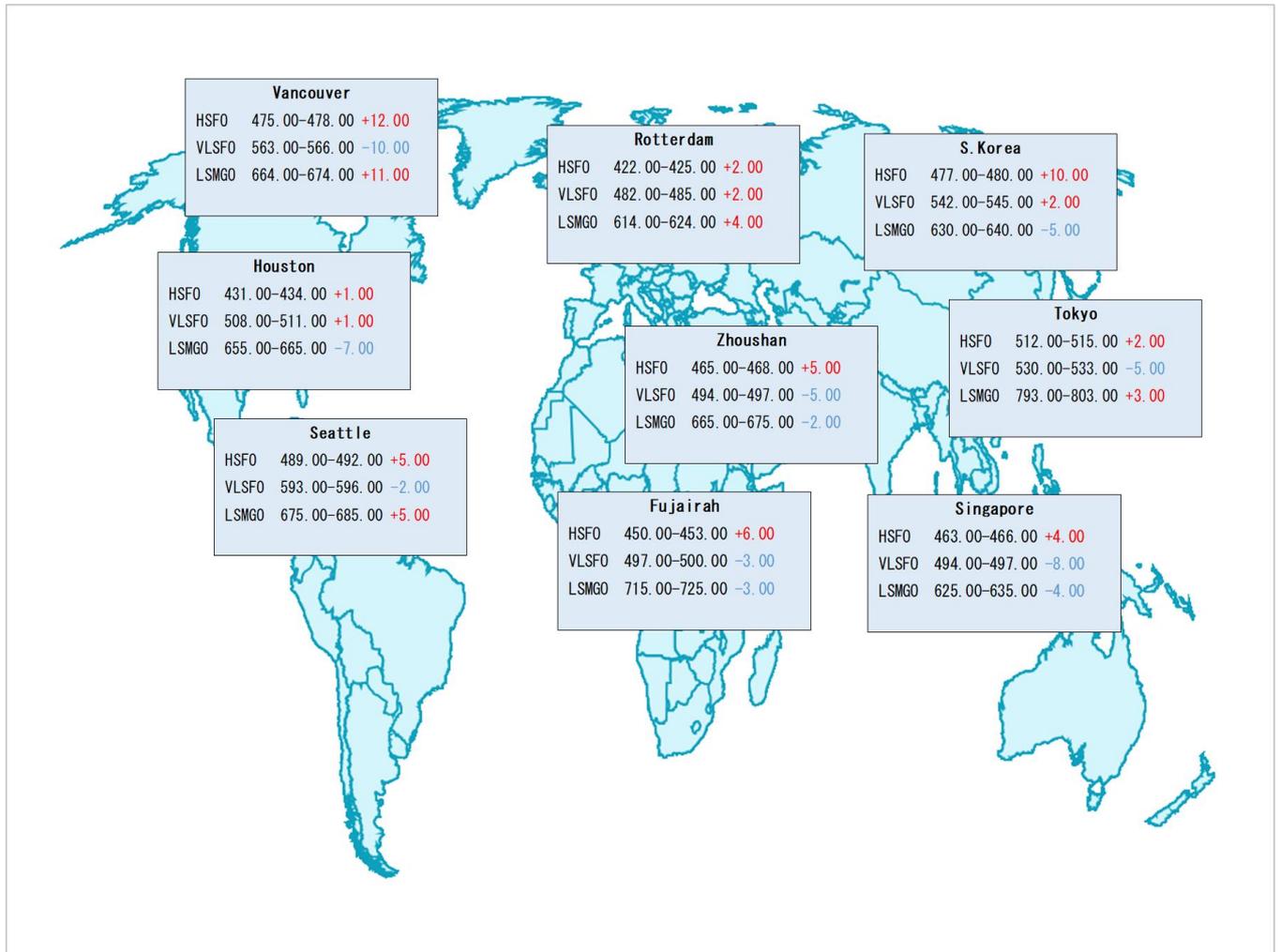
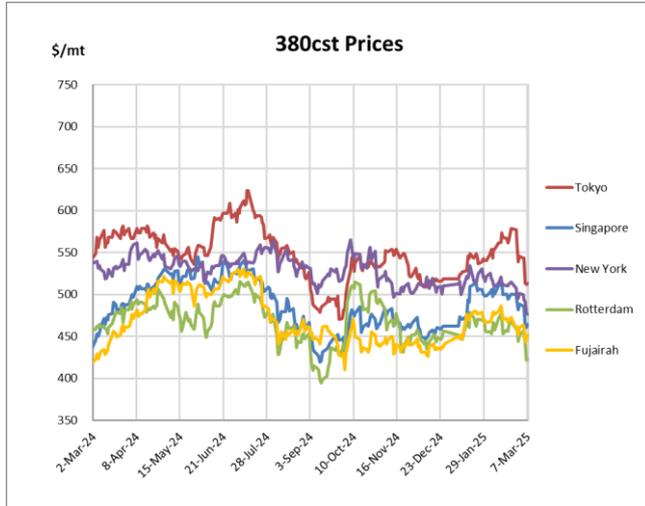
ただ、原油相場の上値は限られた。石油輸出国機構(OPEC)と非OPEC主要産油国で構成する「OPECプラス」が、計画どおり4月から増産を開始することから、供給過剰への懸念が根強かった。

インターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油先物相場も反発した。当限5月物の

終値は前日比16セント高の69.46ドル。1週間より4.11ドル安い。

6日 主要原油の当限引け値は次のとおり。

- * NYMEX・WTI 4月：66.36ドル（前日比0.05ドル高）
- * ICE・BRENT 5月：69.46ドル（前日比0.16ドル高）



○バンクーバー

バンクーバーの380cst相場は、475.00～478.00ドルと前日から12.00ドル大幅に上昇した。原油高を受けた。売唱えは475.00～488.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、563.00～566.00ドルと同10.00ドル大幅に下落した。需給の緩みを受けた。売唱えは563.00～649.00ドルが聞かれた。

需要の後退を受け、バンクーバー港のVLSFO価格の上値は重い。自動車船とタンカー寄港が減少し、バンカー需要が弱まっているようだ。

米トランプ政権の関税発効に伴う一連の貿易摩擦の不透明感を受け、市場関係者は様子見姿勢を貫くしかないという。1～2月は関税発効を前にタンカー荷役が多く、需要は下支えられた。一方3月中旬以降は、タンカー荷役が減少するとの見通しが強まっている。5月以降クルーズ船の需要が強まるため、それまでは大幅な需要拡大は難しいもよう。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、664.00～674.00ドルと同11.00ドル上昇した。原油高を受けた。売唱えは664.00～770.00ドルが聞かれた。

○米西海岸

シアトルの380cst相場は、489.00～492.00ドルと前日から5.00ドル上昇した。原油高を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、593.00～596.00ドルと同2.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、675.00～685.00ドルと同5.00ドル上昇した。原油高を受けた。

ロサンゼルス380cst相場は、519.00～522.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、

607.00～610.00ドルといずれも前日から4.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、708.00～718.00ドルと同12.00ドルそれぞれ上昇した。いずれも原油高を受けた。

サンフランシスコの硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、617.00～620.00ドルと前日から2.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、718.00～728.00ドルと同3.00ドルそれぞれ下落した。いずれも需給の緩みを受けた。

○米東海岸

ニューヨークの380cst相場は、475.00～478.00ドルと前日から1.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、525.00～528.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、715.00～725.00ドルといずれも同3.00ドルそれぞれ下落した。

フィラデルフィアの380cst相場は、478.00～481.00ドルと前日から2.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、537.00～540.00ドル、硫黄分

0.1%以下のLSMGO相場は、713.00～723.00ドルといずれも同4.00ドルそれぞれ下落した。

ノーフォークの380cst相場は、501.00～504.00ドルと前日から1.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、562.00～565.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、740.00～750.00ドルといずれも同4.00ドルそれぞれ下落した。いずれも取引時間内の原油安を受けた。

○米ガルフ

ヒューストンの380cst相場は、431.00～

434.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、

508.00～511.00ドルといずれも前日から1.00ドル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。一方、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、655.00～665.00ドルと同7.00ドル下落した。取引時間内の原油安を受けた。

ニューオーリンズの380cst相場は、436.00～

439.00ドルと前日から2.00ドル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、530.00～533.00ドルと同1.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、655.00～665.00ドルと同3.00ドルそれぞれ下落した。取引時間内の原油安を受けた。

○北西ヨーロッパ

オランダのロッテルダムの380cst相場は、422.00～425.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、482.00～485.00ドルといずれも前日から2.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、614.00～624.00ドルと同4.00ドルそれぞれ上昇した。いずれも原油高を受けた。

ベルギーのアントワープの380cst相場は、437.00～440.00ドルと前日から2.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、491.00～494.00ドルと同4.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場

は、625.00～635.00ドルと同5.00ドルそれぞれ上昇した。いずれも原油高を受けた。

ドイツのハンブルグの380cst相場は、474.00～477.00ドルと前日から1.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、515.00～518.00ドルと同3.00ドル上昇した。原油高を受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、697.00～707.00ドルと同3.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。

○ジブラルタル・アルヘシラス

英領ジブラルタルの380cst相場は、485.00～488.00ドルと前日から5.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、513.00～516.00ドル同1.00ドル上昇した。原油高を受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、709.00～719.00ドルと同1.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。

スペインのアルヘシラスの380cst相場は、485.00～488.00ドルと前日から5.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、513.00～516.00ドル同1.00ドル上昇した。原油高を受けた。また、硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、709.00～719.00ドルと同1.00ドル下落した。需給の緩みを受けた。

○フジャイラ

アラブ首長国連邦(UAE)フジャイラの380cst相場は、450.00～453.00ドルと前日から6.00ドル上昇した。シンガポール重油先物高を受けた。売唱えは450.00～460.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、497.00～500.00ドルと同3.00ドル下落した。シンガポール

0.5%S重油先物安を受けた。売唱えは497.00～508.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、715.00～725.00ドルと同3.00ドル下落した。シンガポール軽油先物安を受けた。売唱えは715.00～755.00ドルが聞かれた。

○日本

日本の380cst相場は、京浜で512.00～515.00ドルと前日から2.00ドル上昇した。シンガポール重油先物高を受けた。売唱えは515.00～524.00ドルが伝えられた。数量を含めた詳細は不明だが、客船向けの引き合いが一件確認されている。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、京浜で530.00～533.00ドルと同5.00ドル下落した。シンガポール0.5%S重油先物安を受けた。売唱えは530.00～558.00ドルが聞かれた。京浜では小ロットの引き合いがわずかに2件報告された。中京・阪神では600～800トンの引き合いが報告された。ただ、船用燃料の規格であるISO8217の2010年度版を保証することが条件となっており、唱えを控える動きがみられた。コスモ石油堺製油所の再稼働の見込みが立たないため、玉の確保がおぼつかないためだという。

ISO8217のどの規格を保証するかは、供給業者に選択権があり、欧米では2017年版、アジアでは2010年版が主流となっている。日本国内では、ENEOSは新年度より2017年版を保証する予定だが、現時点では2005年度版の保証にとどまっている。なお、出光興産、コスモ石油はいずれも2017年版を保証している。

硫黄分0.5%以下のLSMDO相場は793.00～803.00ドルと同3.00ドル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。売唱えは803.00～813.00ドルが聞かれた。なお、リムバンカー重油VLSFOの3月の月間平均価格は533.40ドルと

先月より45.25ドル安い。

【東京湾のVLSFOおよび0.5%S重油価格】

京浜のVLSFO相場は、3月5日に536.50ドルと2月26日時点から20.00ドル大幅に下落した。シンガポール0.5%S重油先物安を受けた。引き続き売り気は旺盛。商社、トレーダーの多くはまとまった数量の引き合いに対し、積極的に唱えの水準を切り下げ、成約を目指している。一方、コスモ石油堺製油所における重質油熱分解装置(コーカー)の停止を受け、同社は月内の新規受注を中止している。中京、阪神地区で需給が引き締まるとの観測が広まり、様子見に転じる売り手もみられた。

0.5%S重油は97,500円と2月26日からもち合った。需要のほとんどがフェリー、RO-RO船に限られており、その多くが長期契約で調達されているためスポット市場での売り買いの動きはみられない。コスモ石油堺製油所の不調、原油相場下落に伴う補助金の行方など、市場の話題には上がっても直接的な需給に対する影響は皆無だという。


○韓国

韓国の380cst相場は、477.00～480.00ドルと前日から10.00ドル大幅に上昇した。シンガポール重油先物高を受けた。GSカルテックスは480.00～483.00ドルで売り唱えた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、542.00～545.00ドルと同2.00ドル上昇した。売り圧力の

後退が相場を押し上げた。現代オイルバンクは542.00～557.00ドル、S-オイルは555.00～558.00ドルでそれぞれ売り唱えた。アジアの主要港と比較して、韓国の相場高が際立つ。6日時点でシンガポール、舟山対比48.00ドル、香港と比べて32.00ドル、日本よりも12.00ドル高となっている。市場関係者によると、売り気が

後退している明確な理由が現時点ではわからないという。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、630.00～640.00ドルと同5.00ドル下落した。シンガポール軽油先物安を受けた。現代オイルバンクは640.00～650.00ドルで売り唱えた。

○中国

中国・舟山の380cst相場は、465.00～468.00ドルと前日から5.00ドル反発した。シンガポール重油先物高を反映した。売唱え465.00～480.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、494.00～497.00ドルと同5.00ドル続落した。シンガポール0.5%S重油先物安が影響した。売唱えは494.00～515.00ドルが聞かれた。市況連動相場の商いでは6日、9日以降渡し計300トン以上がシンガポール0.5%S重油市況対比7～15ドルのプレミアムで成約されたようだ。プレミアム幅は前日から横ばいで推移した。

国営企業の製油所稼働率の高さを受け、石油製品の在庫が潤沢という。市場関係者によると、ガソリンや軽油の輸出が3月中旬以降、増加する見通しという。バンカー需要が少ないなか、販促を仕掛けるため、多くの売り手は積極的に唱えをシンガポールと同水準まで引き下げている。需給は緩んでおり、ポンドバンカー価格

なお、最短の受渡し日は、全油種ともに現代オイルバンクは11日、S-オイルは18日となっている。14日から17日にかけて悪天候が予想されるため、当該期間の受渡しを避ける動きがみられる。

の上値は重い。舟山と上海の舛繰りは、悪天候を加味しても最短の受け渡しは9日以降が可能という。

2025年の全国人民代表大会（全人代）では、経済発展のため再生可能エネルギー網の発展を目指し、脱石油化と原油輸入の中止を今後25年の間に進めるなどと発表した。市場関係者は、2025年にすぐに脱石油が進むことはないとし、バンカー供給は大幅に減少しないと指摘した。一方で、米国が5日に中国製品への追加関税を2倍の20%に引き上げる措置を発動したため、バイオ燃料の輸出が減る可能性があるようだ。このため、バイオバンカーの国内品のUCOMEとVLSFOブレンド規制の発表は延期されているとの声が聞かれた。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、665.00～675.00ドルと同2.00ドル弱含んだ。シンガポール軽油先物安が要因。売唱えは665.00～685.00ドルが聞かれた。

○香港

香港の380cst相場は、475.00～478.00ドルと前日から2.00ドル下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。売唱えは475.00～490.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、510.00～513.00ドルと同5.00ドル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。売唱えは510.00～521.00

ドルが聞かれた。供給業者にもよるが、最短で9日以降の受け渡しが可能という。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、642.00～652.00ドルと同3.00ドルの下落。シンガポール軽油先物安を受けた。売唱えは652.00～668.00ドルが聞かれた。

○シンガポール

シンガポールの380cst相場は、463.00～466.00ドルと前日から4.00ドル反発した。シンガポール重油先物高を反映した。売唱えは463.00～475.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、494.00～497.00ドルと同8.00ドル続落した。シンガポール0.5%S重油先物安が影響した。売唱えは494.00～505.00ドルが聞かれた。市況連動相場の商いでは6日、11日以降渡し計300トン以上がシンガポール0.5%S重油市況対比7～15ドルのプレミアムで成約されたようだ。プレミアムは前日から横ばいで推移した。

このところの先物価格の大幅下落に加え、北東アジアでの悪天候からシンガポールでは引き合いが旺盛という。5日には、10日以降渡しVLSFO280トン以下が500ドル前半で成約された。ただ輸入カーゴの増加見通しの強まりで、VLSFOの上値は重い。一方、HSFOは制裁玉の荷揚げを控える売り手が多く、需給が逼迫している。最短の受け渡しは15日以降という。

なお、シンガポール港湾局(MPA)は6日、既存バンカーバージを使用しバイオ混合率30%以内のバイオバンカーをシンガポール港で運搬と供給できることを発表した。7日より、MPAが認可したすべてのバンカー供給業者およびバンカー船舶運航業者が保有する重油バンカーバージで、バイオ混合率30%以内の運搬と受け渡しが可能となる。欧州や韓国では、バイオ30%混合のバイオバンカーを供給していた。特にFuelEU Maritimeが始まった欧州では、GHG削減を目的に既にB30のバイオバンカー販売を実施している。一方で、市場関係者は価格が割高なB30のバイオバンカーを率先的に調達するアジアの買い手は少ないのではないかと警戒感を示した。

硫黄分0.1%以下のLSMGO相場は、625.00～635.00ドルと同4.00ドル弱含んだ。シンガポール軽油先物安が要因。売唱えは625.00～645.00ドルが聞かれた。

◎公示価格
○台湾中油(CPC)公示価格更新(7日)

台湾中油(CPC)は7日、バンカー重油価格(380cst)を10.00ドル大幅に切り上げた。一方、バンカー重油価格(180cst)は7.00ドル、硫黄分0.1%以下のLSMGO価格は4.00ドルそれぞれ切り下げた。主要港のスポット価格は以下のとおり。

	380cst	180cst (0.5%S)	LSMGO (0.1%S)
高雄	533.00	527.00	730.00
基隆	n. a.	527.00	730.00
台中	n. a.	527.00	730.00
その他	n. a.	527.00	730.00

◎マーケットニュース
○台湾=石油2社の製油所平均稼働率、74.8%と先週から6.9ポイント低下

リム調べによると、台湾石油2社の合計の原油処理量は6日時点で日量81万5,000バレルと先週から8.4%減少した。フォルモサ石油化学(FPCC)が麦寮製油所(日量54万バレル)の原油処理量を日量40万バレルへ引き下げた。3月の平均原油処理量は日量39万バレルを予定している。今週初め、残渣油流

動接触分解装置 (RFCC、日量7万6,000バレル)が5月24日までの予定で定修に入った。一方、台湾中油 (CPC)は原油処理量を日量41万5,000バレルへ引き上げた。全社の常圧蒸留装置の実働能力は日量109万バレル。製油所の平均稼働率は実働能力に対し74.8%となった。

Capacity	CPC		Formosa		Total	
	550,000	b/d	540,000	b/d	1,090,000	b/d
Mar 06, 2025	75.5	%	74.1	%	74.8	%
	415,000	b/d	400,000	b/d	815,000	b/d
Feb 27, 2025	72.7	%	90.7	%	81.7	%
	400,000	b/d	490,000	b/d	890,000	b/d
Feb 20, 2025	72.7	%	93.5	%	83.0	%
	400,000	b/d	505,000	b/d	905,000	b/d
Feb 13, 2025	72.7	%	93.5	%	83.0	%
	400,000	b/d	505,000	b/d	905,000	b/d

○中国＝ガソリンと軽油の国内統制価格、6日から切り下げ

中国国家発展改革委員会 (NDRC)は5日午後、6日零時以降のガソリンと軽油の国内統制価格をそれぞれトンあたり135元、130元の引き下げると発表した。2025年通算の調整幅はガソリン、軽油ともに105元の引き上げとなる。中国政府は国内外の価格動向を見ながら、10営業日ごとに統制価格を見直している。

2025年ガソリン、軽油の国内統制価格調整				
日付	ガソリン (元/トン)		軽油 (元/トン)	
	引き上げ	引き下げ	引き上げ	引き下げ
1月4日	70		70	
1月17日	340		325	
2月7日	見送り			
2月20日		170		160
3月6日		135		130
累計	410	305	395	290
合計	105		105	

◎お知らせ

○電力データCD・2023年度版の販売開始について

リム情報開発は、電力入札データの2023年度版CDを、7月17日から販売開始しました。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております電力入札データの2023年度版となります。最新版では、2023年4月から2024年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2023年度版は、収集件数4,071件(昨年度4,168件)で、うち比較可能なデータは2,058件(同1,000件)です。

※「比較可能データ」：予定供給量、契約電力、契約金額がそろった案件を集計(入札不調、入札条件が不明などの案件は除外)

関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/data/1777043.html>



お申込みこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contact/form/powerData.html>

○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたしました。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/>

TEL: 03-3552-2411 / E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

○クロスビュー重油レポートのお知らせ

産業燃料として欠かせない重油の用途は、船舶燃料、発電、ボイラー用と多岐にわたります。ただ、「同じ重油を扱っているのに、他業界の需要動向についてはまったく知識がない」といった声もあり、多くの市場関係者から、「重油に関する情報を幅広く知りたい」という要望をしばしばいただくようになりました。

こうした状況を踏まえ、当社が得意とする価格取引情報と各種の統計データを組み合わせ、国内外の重油マーケットを多面的に捉えようと試みているのがこのレポートです。内燃研・メニュー価格予想、アスファルト最新事情、さらに昨今一番注目されている脱炭素エネルギー関連情報など幅広いトピックも取り上げています。毎月10日号および25日号の計2回発行です。

内容についてのご質問等は、リム・クロスビューチームまで御連絡ください。

電話：03-3552-2411 E-Mail: info@rim-intelligence.co.jp

○OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2024年12月19日、証券監督者国際機構 (IOSCO) により定められた石油価格報告機関 (PRA) に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品 (Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。



RIM INTELLIGENCE

Bunker Oil

3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel:81-3-3552-2411 Fax:81-3-3552-2415 e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: 65-6912-7359

e-mail: lim@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86)10-6498-0455, Fax: (86)10-6428-1725

e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp, huo@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

Tel: (86)-21-6760-6331, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2025 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >